

2025 年 11 月 17 日

昭和産業株式会社

昭和産業とネスレ日本が“循環型”の物流で連携 ～2025 年 10 月より小麦粉とコーヒーのラウンド輸送を開始～

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：塚越 英行、以下「昭和産業」）とネスレ日本株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役 社長 兼 CEO：深谷 龍彦、以下「ネスレ日本」）は、持続可能な物流網の構築を目指し、往路は小麦粉などの食品原料製品を、復路はコーヒーなどの飲料製品を運ぶ「ラウンド輸送」（※1）を、週 3 回の運行で 2025 年 10 月より開始しました。

（※1）トラックが荷物を届けた後の復路で別の荷物を運ぶことで空荷走行を減らし、車両の稼働効率を高める“循環型”の輸送方法のこと。



（左）ネスレ日本 常務執行役員
サプライ・チェーン・マネジメント本部長
オリビエ ロラン モントゥ
（右）昭和産業 執行役員
プロダクションプランニング部長
永井俊彦

ラウンド輸送での荷積みの様子

■小麦粉とコーヒーを組み合わせた異業種連携により、トラック使用台数を削減

本取り組みは、往路にて昭和産業 鹿島工場（茨城県神栖市）から静岡の営業倉庫に小麦粉などの食品原料製品を輸送し、復路にてネスレ日本 島田工場（静岡県島田市）から千葉の倉庫にコーヒーなどの飲料製品を輸送するものです。復路の空荷を解消することで物流の効率化につながるほか、当該路線におけるトラックの使用台数を従来より約 50%削減できる見込みです。



昭和産業とネスレ日本の「ラウンド輸送」のイメージ

昭和産業とネスレ日本は、今後もラウンド輸送の対象地域拡大や、より幅広い領域での物流連携の検討を進めていき、持続可能な物流網の構築を目指していきます。

以 上

参考資料

■ ネスレ日本について

ネスレ日本は、スイスに本社を置く世界最大の総合食品飲料企業ネスレの日本法人で、1913 年（大正 2 年）に創業しました。ネスレは、「食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」を存在意義（パーパス）として掲げ、安全で、美味しく、環境にも配慮された製品やサービスを皆さまにお届けできるよう、今後も努めていきます。

ネスレ日本について： <https://www.nestle.co.jp/>

2024 年共通価値の創造とサステナビリティ ネスレ日本の取り組み：

https://www.nestle.co.jp/sites/g/files/pydnoa331/files/2025-06/CSVreport_2024_jp.pdf

■ 昭和産業について

1936 年（昭和 11 年）創業の昭和産業は、「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」を企業理念に掲げ、顧客のニーズや課題に“おいしい答え”を出す「穀物ソリューション・カンパニー」として、小麦粉・植物油・糖化製品などの製造販売、配合飼料の販売の他、倉庫業など幅広い事業を展開しています。食品メーカーとして穀物の取扱量は日本一です（当社調べ）。穀物を余すことなく最大限に活用するビジネスモデルで、食品リサイクル率 99.9%（過去 5 年平均）を実現し、環境負担の少ない持続可能な社会づくりに向けて取り組んでいます。

昭和産業について： <https://www.showa-sangyo.co.jp/>

昭和産業グループ 統合報告書 2025：サステナビリティ「環境負荷の低減」：

<https://www.showa-sangyo.co.jp/Portals/0/ir/library/integ%20repo2025/Showa%20IR2025J-27.pdf>

昭和産業グループ 統合報告書 2025：経営戦略「物流 2024 年問題対応」：

<https://www.showa-sangyo.co.jp/Portals/0/ir/library/integ%20repo2025/Showa%20IR2025J-14.pdf>